

# W A K O C I R C L E



## CONTENTS

- 新入生へのメッセージ
- イベント紹介 (アジアフェスタ&サトヤマアートサンポ)
- Campus Snap ●和光はてな見聞録/伝書ばとん
- Club Activities (コスプレサークル) ●Campus Information
- MY CHOICE (バンバン・ルディアント先生)
- OUR NEIGHBORS (cafe 花と海 橋本洋子さん)

和光大学通信  
No.  
**142**  
2019/04/01

# CONTENTS

WAKO CIRCLE No.142

2019/04/01

- 02 新入生へのメッセージ
- 03 イベント紹介 ～アジアフェスタ & サトヤマアートサンポ～
- 05 Campus Snap (学内でのランチ・おすすめメニュー)
- 06 和光はてな見聞録 (地域・流域共生フォーラム)  
伝書ばとん (現代社会学科 石田 悠真さん)
- 07 Club Activities (コスプレサークル やればできる子)
- 08 授業アンケート結果
- 09 学生スタッフ募集
- 11 Campus Information
- 13 新任教員の紹介・退職される教員の紹介
- 14 MY CHOICE (バンバン・ルディアント先生)  
OUR NEIGHBORS (cafe 花と海 橋本 洋子さん)

# 新入生へのメッセージ



異質力をもち 仲間 先生  
そして自分に出逢える 和光大学

学長 井出健治郎

みなさん 新入学 おめでとございます。  
「異質力で、輝く。」というキャッチコピーを大学では推奨しています。解釈はいろいろですが、誰もがほかと違う個性があります。それに気づき、気づかされ、強みとして活かせるようにしていく。いつか、みんなの生きるチカラとなっていく(個性から異質力へ)。和光大学で過ごす大きなゴールとしてほしいと思います。  
充実できるかはひとりひとりにかかっていますが、異質力をもち 仲間がいたり、先生がいるはずで。そして、自分の異質力に気づいていない みんなは、どうぞ和光で見つけてください。応援しています。



目標を立てよう

副学長 半谷俊彦

大学のキャンパスには「自由」があふれています。高等学校までのように、月曜から金曜までクラスの皆が何を勉強するかを定める画一的なスケジュールは用意されていません。いつ何を学ぶかは基本的に学生に任せられているのです。  
自由を満喫するためには主体性が重要です。強制されることがない分だけ、自分自身の意思で行動することが求められるのです。是非、目標を持って日々を過ごして下さい。4年間の目標、今年の目標、今月の目標を立てましょう。そうすればあなたの学生生活は、きつと充実したものになるはずです。



学生とともに『ヒカリノミチ』を

副学長 制野俊弘

メタセコイアの木々の移ろいを眺めながら、30数年前、初めて和光を訪れた日のことを思い出します。本学と同じ1966年生まれの私。違う空の下で歴史を重ねた末に、再び「交錯」の機会に恵まれました。自由を使いこなすことがままならない現在、和光は「ヒカリノミチ」(宮澤賢治)を歩まんとする学生たちの貴重なベースキャンプになっています。「教えるとは、未来とともに語ること、学ぶとは、真実(まこと)を胸に刻むこと」。ルイ・アラゴンの言葉に導かれ、学生とともに歩もうと決意しているところです。



表現学部長  
半田 滋男



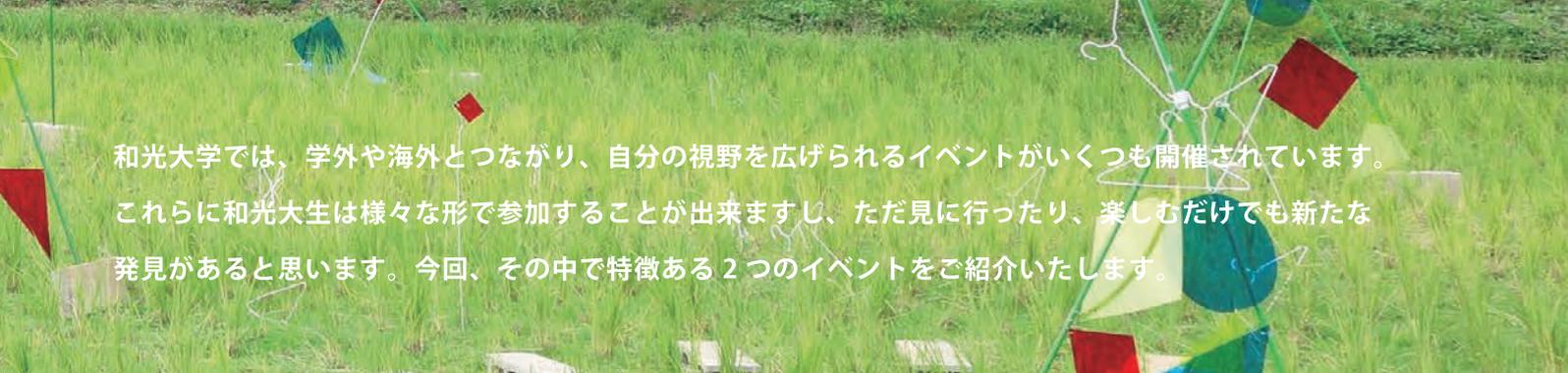
現代人間学部長  
常田 秀子



大学院社会文化  
総合研究科委員長  
伊藤 武彦



経済経営学部長  
鈴木 岩行



和光大学では、学外や海外とつながり、自分の視野を広げられるイベントがいくつも開催されています。これらに和光大生は様々な形で参加することが出来ますし、ただ見に行ったり、楽しむだけでも新たな発見があると思います。今回、その中で特徴ある2つのイベントをご紹介します。

非常勤講師の方々からの提案がきっかけで始まったアジアの文化を紹介するお祭りです。アジア各国の伝統芸能や武芸、楽器演奏などが披露されたり、留学生と日本人学生、教職員らの協力で、アジア各国料理が提供されたりします。その他アジア文化に関するトークセッションや梅根記念室で企画展示がされたりと様々な面からアジアを感じることができます。

## アジア フェスタって？

### おすすめポイント

アジアをテーマにしたお祭りですが、人とのつながりができる場でもあります。アジアに関わりのある教員や留学生だけでなく、地域の方々や卒業生とも交流することができます。また、お祭りとして盛り上がるだけではない点も魅力です。昨年の梅根記念室の展示では、JICAの防災教育プログラムの様子を紹介するなど、アジア地域が抱える課題について学ぶこともできます。

### 課題について

アジアに興味を持つ学生が減っているのを感じています。目先のことに集中することも大切ですが、学生時代は視野を広くして様々なことに興味を持ってほしいです。今は興味を持ってないという人も、演奏や料理を楽しみに一度遊びに来ていただくとアジアを知る面白さを感じられるのではないのでしょうか。



人間科学科  
澁谷先生

### 社会文化総合研究科 1年 エミルワハナ アグリアンシャさん

元々他国の文化に興味があり、様々な国のフェスタに行って楽しんでいます。今回初めて、インドネシアの Sate Ayam(インドネシア風焼き鳥)を提供する側として参加しました。多くの方に美味しかったと言ってもらって嬉しかったです。アジアフェスタは、様々なパフォーマンスを楽しみながら、他の国の料理も味わえます。さらに先生方と一緒に文化について語り合ったりできるのは貴重な経験でした。今年も楽しみにしています。



### わ太鼓サークル 竜鼓座

経営学科 3年 能美 和史さん / 経済学科 2年 香川 祐介さん



昨年は「アジアのお祭り」というテーマだったので、竜鼓座は日本のお祭りをアピールしました。みんなで盛り上がるには、自分達が楽しむことが大切なので、笑顔でのパフォーマンスを心がけています。過去には異国の楽器とコラボして盛り上がったこともあります。見に来るだけでも楽しいですが、自分たちの演奏でみんなが楽しんでくれるのは本当に気持ちが良いです。竜鼓座はメンバーを絶賛募集中なので、興味がある方はお気軽にお声かけください。

# アジアフェスタ & サトヤマアートサンポ

## サトヤマアート サンポって？

2015年に始まり2018年まで、過去4回行われている野外アート展です。  
稲刈りを終えた田圃や竹林の中に学生が作ったアート作品が展示されています。

地域の自然環境や歴史に焦点を当てた作品を、静寂な里山の風景の中を散歩しながら楽しめます。

昨年までは川崎市麻生区黒川地域で行われましたが、今年は和光大学のある岡上地域での実施を検討しています。

### 参加する方法について

芸術学科の学生が中心となっていますが、作品作りへのサポートもしますので他学科の学生にも積極的にチャレンジしてほしいです。例年11月中に実施していて今年も同じ時期に開催を目指しています。作品募集の情報は、例年7月頃から、芸術学科の掲示板や芸術学科の資料室で確認することができます。芸術学科の教員にお声かけいただいても大丈夫です。



芸術学科  
詫摩先生

### 鑑賞のポイントについて

室内では展示することが難しい大きい作品や自然環境を生かした作品など、学内の展示とは趣の異なる作品を違った環境で楽しめます。また、芸術に興味が無い人でも、自然豊かな環境で散歩をするのは清々しいですし、作品を眺めながら歩いているうちに普段は気づかないその地域の魅力に気づくことができます。

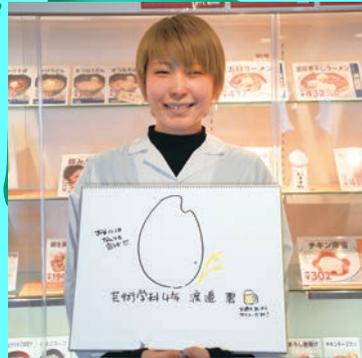
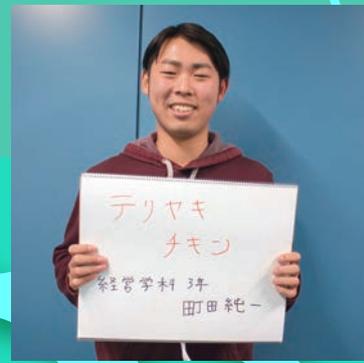
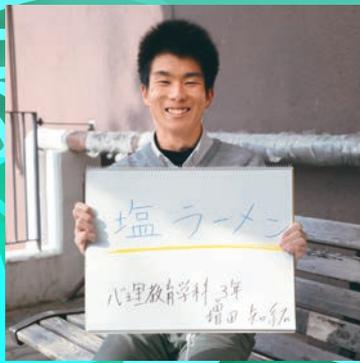
### 出展した 学生の声

#### 芸術学科3年 青山仁希さん

野外の広いスペースに、大きさを気にせず自分の作りたい作品を展示できます。そして、子どもからお年寄りまで様々な人が作品を見てくれます。直接感想を聞くこともできます。野外での展示なので、設置から作品の管理まで、いろいろ大変なことはありましたが、みんなで協力して乗り越えました。このおかげで協調性が培われた気がします。地元メディアに取り上げられたりもして、自分にとってプラスになることが多かったです。

#### 芸術学科2年 小島萌さん

子ども達と一緒に「森にはなにがいる？」という作品をつくりました。子ども達の自由な発想を大切に、シート2枚くっつけた大きいキャンバスに、絵を描く道具以外の物も使って描いています。年少から小学校高学年まで幅広い年齢の子供がいるので、段取りや説明に気を付けました。結果、飽きることなく最後まで楽しんでくれて、とても嬉しかったです。大変なこともありましたが、先生や仲間、地元の方々など様々な人に協力してもらい、楽しい経験となりました。



## CampusSnap

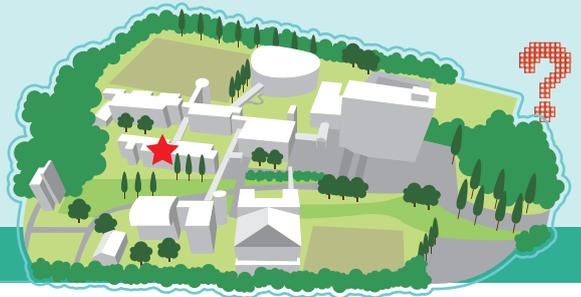
学校でのランチのオススメを教えてください





# 和光はてな見聞録

普段の学生生活ではなかなか知ることのできないモノや場所を調査し、光を当てていく連載企画。



## 第12回 『地域・流域共生フォーラム』

このコーナーの第1回(131号)で、A棟1階エントランスの水槽を取り上げましたが、今回はそれよりもっと多く生き物を学内で見ることができる、地域・流域共生フォーラムを紹介します。

G棟3階にあるこの場所には、ホトケドジョウなどの魚類の他、カメやヘビ、カエルなど様々な生き物が飼われています。昆虫の標本もあります。こちらの担当職員である齋藤透さんに、この場所を紹介してもらいました。

ここはこの地域の自然環境の素晴らしさを知ってもらうための場所であり、大学と地域をつなげる拠点となる場所です。ここにいるのは、全て大学のある岡上地域、鶴見川流域で見られる生き物です。学生や地域の方々に、これらの生き物を見たり触ったりすることで自然を直に感じてもらうために展示しています。

そして、最近では学童クラブの子どもたちが遊びに来たり、小学生が、授業の一環として地域の自然を学びに来たりしています。その中には、自然や生き物の話を聞いて、目を輝かせている子どももいます。このような活動を通して、この地域に愛着を持ってもらいたい、そしてここを地域の方々と学生や教員を繋ぐ場所と

していきたいと考えています。

ここでは、普段気づかない足元の自然の豊かさを感じることができます。人とのつながりも広げることができます。

平日の9:00~17:00 開室しておりますので、気軽に遊びに来てください。

地域・流域共生フォーラム HP <http://www.ryuiki-wako.jp/>



## 伝書ばとん

毎回共通の質問を投げかけ、先生から学生へ、学生から先生へとバトンをつないでいく連載企画。

### 「今一番アツくなれるものは何ですか？」



現代社会学科 石田 悠真 さん

今回、行動力溢れる石田さんにお話を伺いました。和光大学では、「wako lgbs コミュニティ」というサークルを立ち上げ、学外ではLGBTのための認定NPO法人ReBit(リビット)に所属しているそうで

す。具体的には、サークル活動で多くの大学とつながり交流会を主催したり、NPO法人の広報として大学や高校へ出向き講演を行ったりと学外へ積極的に出ていき、幅広く活躍されています。

そんな石田さんがアツくなっているのは、「グラフィックでの気持ちの伝え方」です。様々な団体で活躍していく中で、組織の一員としてではなく個人の強みを考えた時、グラフィックデザインに関する興味だと感じるようになったそうです。今回は、そのアツい思いを語っていただきました。

大学生になり活動の幅が広がることで、伝える場が増え、その資料をつくる機会も増えてきました。その際、資料作成にこだわることで、他者とは違う自分の個性が引き出されると感じ始めました。

伝えたいことを正しく受け入れてもらうためには、相手に興味を持ってもらうことが大切です。資料作りは、わかりやすさと共に相手

に飽きさせない工夫をすることを意識します。いかに視覚にアピールできるかを考え、色づかいや文字の大きさ、フォントなどにこだわり、動きをつけたりします。しかし場合によっては、いろいろ盛るよりもシンプルに削ることも大切と感じています。

デザインに関するスキルは基本的に独学です。自分では解決できない部分は人に教わり、スキルが高い人がいれば、積極的に聞きに行くようにもしています。また、自分のセンスを高めるため、様々な媒体のデザインを見ることも心がけています。

デザインが洗練されていることは、多くの人に受け入れてもらうきっかけになります。多くの人に関心を持ってもらいたい思いがあり、また、デザインを考えるのが純粋に楽しいので、これからもグラフィックデザインに関わっていきたいと思います。

今回、石田さんが実際に作成された素敵なデザインの資料を何種類も紹介していただきました。その際とても楽しそうで、そこでもアツい思いを感じることができました。

石田さんがばとんを繋ぐのは、心理教育学科の山本由美先生です。次回もお楽しみに！

(文 = 野内)



## Club Activities

# やればできる子

現在、合計24名所属していて  
男性も気軽にコスプレ出来ます。

メンバーは、中学の時から  
活動している人、大学に  
入学してから始めた人、  
コスプレはせず撮影を  
担当する人など様々です。

皆さんこんにちは。  
私達は、コスプレサークル  
『やればできる子』です。

2014年に出来た  
サークルで、  
色々な人が集まって  
コスプレを楽しんでいます。



## 主な活動内容

学外のコスプレイベントに参加したり、  
コスプレ専門スタジオに行ったり様々な  
シチュエーションで写真撮影をしたりします。  
撮影した写真は、大学祭にサークルで  
出店するカフェに展示して、  
来店した方々に楽しんでいただけます。  
(展示はNGでしたら出しません)

学内では、ハロウィンやクリスマスなど、  
季節ごとに仮装してパーティーをすることもあります。

またコスプレを  
外でやるのは  
最初はとても怖い  
と思いますが、

先輩が付いて  
きてくれるので  
安心して下さい！

入っていただくと  
未経験者さんは、  
先輩にコスプレの  
やり方を教えてもらえます。

一緒にコスプレ専門店や  
ウィッグの専門店に行ったり、  
ウィッグの作り方・付け方や、  
メイクの仕方も教えます。

このサークルの雰囲気は、  
一言で言うと自由です！

自分のペースで参加できます。  
マイペースなメンバーが多いですが、  
みんなで結束した時のパワーは  
『やればできる子』だと思っています。

このサークルでは2次元を中心に  
幅広い分野の話で  
盛り上げられると思います。  
そんな中から共通点が見つかって  
「コスプレ合わせて着ようよ」  
なんて話になったりします！

サークルと並行して、  
個人的に色々なところで  
活動している  
メンバーもいます！

毎週水曜日のお昼に  
D棟109教室に  
集まっているので、  
少しでもご興味を持った方は  
来てみてください。

新歓時期はお知らせのチラシを  
B棟前などで配っていますので、  
それを見て来ていただくと  
嬉しいですよ。

# 2018年度前期 授業アンケート結果

和光大学が7月に実施した2018年度前期授業アンケート集計結果がまとまりました。

このアンケートは、和光大学FD推進委員会が実施するもので、和光大学の教育の現状を把握し、授業改善につなげていくものです。

個別のアンケート結果はそれぞれの授業を担当する教員に報告し、授業の改善に役立てるよう依頼しています。また、全体の集計結果を分析して、和光大学の教育のより一層の充実をはかります。

## 《実施日程・調査方法》

アンケートの実施期間は7月2日(月)～7月7日(土)の一週間でした(一部の科目では一週間後に実施しました。対象とした科目は、大学院科目・集中講義科目を除いたすべての開講科目です。ただし、通年科目、前期・後期連続して受講する科目については後期に実施しました。

調査は、和光ポータルで行ないました。原則、当該の授業中に学生が回答する時間を取っています。大きく分けて3つの項目について回答を求めました。項目Ⅰは出席状況について1問、項目Ⅱは授業の内容や形態について8問、項目Ⅲは授業の改善点について1問(複数回答可)でした。

## 《集計方法》

みなさんの回答は、コンピュータで集計し、大学全体のほか、科目ごと・学科ごと・課程区分ごとの結果を集計しました。

## 《アンケート回収率》

総履修者数	25439名
回答者数	8778名
回答率	34.5%
前年度回答率	43.3%
(回答率Ⅱ回答件数/総履修者数)	
対象科目数	522科目
実施科目数	499科目
実施率	95.6%
前年度実施率	95.6%
(実施率Ⅱ実施科目数/対象科目数)	

※小数点第2位以下四捨五入

## 《総評》

集計結果を見ると、全体として評価が高いのはⅡ-1「授業内容の周知」、Ⅱ-2「教材等の準備」、Ⅱ-4「教員の熱意」といった要素でした。一方で項目Ⅲでは「もっと分かりやすく説明してほしい」「もっといい板書をしてほしい」「もっと理解しやすい教科書や資料を使ってほしい」などの回答が多く、授業内容の理解度を向上させるために、板書や資料の改善に慎重に取り組みが必要であると考えます。

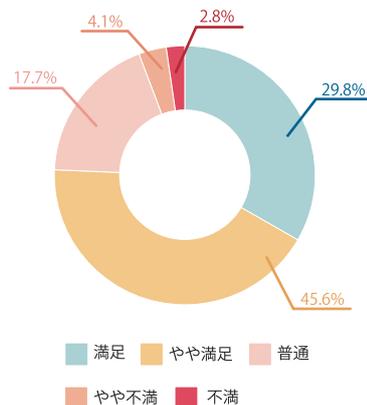
この結果を受け、引き続き大学として授業の改善方法を検討していきます。学生の皆さんには本年度も引き続きアンケートを実施しますので、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。また、後期のアンケート結果は大学ホームページにて公開しています。

担当 企画係

## 全体の集計結果

Ⅰ-1	この授業に、これまでにどのくらい出席しましたか？	すべて出席した 41.1	1~2回 欠席した 38.1	3分の2程度 出席した 16.7	3分の1程度 出席した 2.2	ほとんど 出席しなかった 1.8
Ⅱ-1	講義要点やオリエンテーションは、この授業の内容を正しく伝えていた	強くそう思う 34.0	そう思う 49.8	どちらとも言えない 12.5	あまりそう 思わない 2.2	まったく そうは思わない 1.4
Ⅱ-2	この授業では、適切な教材・機材・資料などが準備されていた	35.8	46.8	12.9	2.7	1.8
Ⅱ-3	この授業で教員は学生とコミュニケーションを積極的にとろうとしていた	31.2	40.2	20.1	5.6	2.9
Ⅱ-4	授業準備や話し方を通じ、この授業に対する教員の熱意を感じた	37.5	44.7	13.4	2.9	1.6
Ⅱ-6	この授業の内容をじゅうぶんに理解できた	20.0	47.8	23.6	5.8	2.8
Ⅱ-7	この授業を受けて好奇心が刺激され学習の意欲がわいた	24.9	42.9	22.6	6.0	3.5
Ⅱ-8	総合的に判断して、この授業に満足している	29.8	45.6	17.7	4.1	2.8
Ⅱ-5	この授業のために、1週間あたり、どのくらい学習(予習・復習・課題やレポートなど。授業時間は含まない)しましたか	120分以上 5.4	60~119分 8.6	30~59分 17.0	1~29分 23.1	していない 46.0

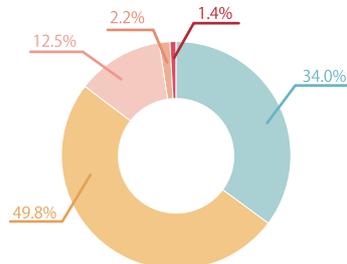
総合的満足度(設問Ⅱ-8)



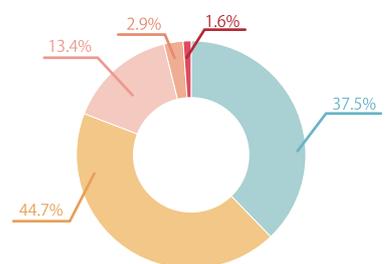
### 選択項目Ⅲ

授業の開始・終了の時刻を守ってほしい	299	成績評価の基準をより明確にしてほしい	470
学生のおしゃべりなど迷惑な行為をやめさせてほしい	583	学期中の授業スケジュールをもっと明確にしてほしい	247
もっと理解しやすい教科書や資料を使ってほしい	666	質問や相談にもっといいに対応してほしい	224
もっといい板書をしてほしい	622	より適切な広さの教室を用意してほしい	258
もっと分かりやすく説明してほしい	894	パソコンなどの機器をもっと整備してほしい	321

オリエンテーション等で  
授業内容を正しく伝えていたか(設問Ⅱ-1)



教員の熱意を感じたか(設問Ⅱ-4)



# 学生スタッフの募集

## オープンキャンパススタッフ

たくさんの受験生、保護者の方が来場するオープンキャンパスで、受付や案内、キャンパスツアーなどを担当する学生スタッフを募集します。元気で責任感のある方や人と話すのが好きな方、歓迎です！  
アルバイト登録制。4月から受付開始予定。

### ●特徴

- ・和光大学のおもしろさや学び方を受験生に伝えることが出来ます。
- ・オープンキャンパス前には、スタッフミーティングや研修会を実施。初めての方でも自信を持って当日を迎えられます。
- ・研修や勤務を通じて、他の学生スタッフと繋がりが出来るので、人間関係が広がります。

●申込・問い合わせ 入試広報室（A棟1階）まで



## ノートテイク

ノートテイクとして、障がい学生の授業をサポート

聴覚障がい学生や肢体不自由学生の隣に座り、授業時のサポートを行うノートテイクを募集しています。  
現在約30名の学生がノートテイクとして活躍中です。科目数に応じた謝礼あり。

### ●特徴

- ・日常のノートテイクや交流会などを通じて、障がい学生、他のノートテイクとの繋がりができ、友人も増えます。
- ・ノートを取る力や話を要約する力が身について、自分の勉強や就職活動に役立ちます。
- ・初めての人でも安心して取り組めるように、基礎技術の講習会を実施しています。
- ・人の役に立つのが好きな方、大学に入って新しいことに挑戦してみたい方、パソコン入力が得意な方、ぜひ応募してください。

●申込・問い合わせ 学生支援室（A棟3階）まで



## 広報冊子作成スタッフ

『WAKO CIRCLE』をつくり編集の腕をみがく

毎年発行している広報冊子の作成をしていただける方を募集します。

### ●特徴

- ・この冊子『WAKO CIRCLE』は学生スタッフとともに作成しています。企画、取材・執筆、撮影、レイアウトなど、編集作業に興味のある学生をお待ちしています。謝礼あり。

●申込・問い合わせ 企画室（A棟1階）



## Let's Read Project

<図書・情報館で、本にまつわる企画にたずさわる>

読書や本にまつわる企画・イベントを計画・実行する「Let's Read Project」のメンバーを募集しています。「選書ツアー」の開催や館内の常設コーナーでのテーマ別企画本棚の公開、ビブリオバトルの開催など、新たなアイデアも続々登場しています。

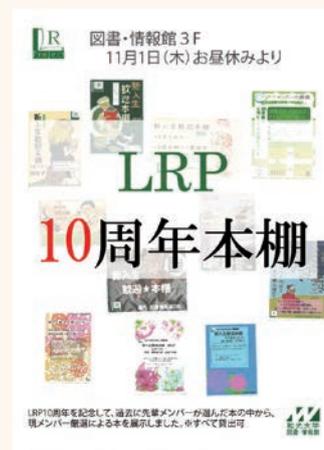
### ●特徴

- ・学年も所属学科も多様な学生が集まっているので、館内に設けられた LRP ルームでは、本やマンガなど、いろいろなジャンルの話題で交流できます。
- ・ポスターやチラシ制作などを通じて、表現のスキルを身につけることができます。

### ●学生メンバーからの声

選書ツアーに参加したり、館内の本をセレクトして本棚を作ったりするなかで、自分が知らなかった本の世界を知るおもしろさ、自分が紹介した本を読んでもらえる楽しさを経験できました。

- 申込・問い合わせ 図書・情報館（3階レファレンスカウンター）まで



## 対面朗読 朗読者

<対面朗読で、視覚障がい学生をサポートする>

### ●業務内容

(対面朗読サービス：視覚障がい学生の図書・情報館利用を援助するために実施)

1年間（または半期）、授業の空きコマに視覚障がいのある学生とペアを組み、本やプリントの代読、資料探しのお手伝いなどの、図書・情報館利用のサポートをする学生を募集しています。週1コマ。年2回朗読料を支給しています。

### ●特徴

- ・年度初めに募集し、授業の空き時間をもとに調整します。
- ・図書・情報館の仕事や調べものに関心のある学生の皆さん、人の役に立ちたい、視野を広げたいという方、ぜひ参加してください。

- 申込・問い合わせ 図書・情報館（3階レファレンスカウンター）まで



## 情報保障団

情報保障団として、障がい学生のサポート

入学登録や学科オリエンテーションなどでの、要約筆記（パソコンテイク）を行う「情報保障団」メンバーを募集しています。

### ●特徴

- ・定期的に練習会を開催しますので、パソコンテイクが初めてという方も大歓迎です（謝礼あり）。

- 申込・問い合わせ 学生支援室（A棟3階）まで



# Campus Information

## 事業室 A棟3階

### ● 通勤・通学時のマナーについて

やむを得ず自動車を利用しなければならぬ方以外に駐車スペースを確保することはできません。徒歩・スクーパスでの通学・通勤をお願いいたします。

また、道いっぱいに広がって歩く、たばこのポイ捨て、夜間の大声での談笑など地域住民の方から苦情が届いています。思いやる心を持って通行するようにしてください。

## 教学支援室 A棟2階

### ● 新年度資料について

4月6日(土)、8日(月)、9日(火)に新年度資料(学修の手引き、時間割など)を配布します。学科別オリエンテーションに出席する前までに、必ず受取るようにしてください。

また、同会場にて学生証の裏面シールも配布します。学生証持参の上、忘れずに受取るようにしてください。詳細は、各学科の掲示板または和光ポータルで確認してください。

### ● 学科別オリエンテーション

4月6日(土)、8日(月)、9日(火)に学科別の学年指定オリエンテーションが行われます。

ます。学生証持参の上、必ず出席してください。詳細は、各学科の掲示板または大学ホームページで確認してください。

### ● 履修登録

授業の履修登録は和光ポータル(Webシステム)で行います。和光大学アカウントが必要となるので、自分のユーザー名とパスワードの確認をしておいてください。

- ・履修登録期間 4月19日(金)～22日(月)
- ・履修訂正期間 4月30日(火)～5月1日(水)

### ● 履修相談

学修計画や「和光ポータル」での履修登録のことなど、教学支援室窓口で相談に応じます。履修登録単位数の上限などは、「学修の手引き」をよく読んで確認してください。

### ● 前期授業開始

前期(大学院は春 semester)の授業開始は4月10日(水)です。

## 学生支援室 A棟3階

### ● 学生ロッカーについて

貸与期間 19年12月23日までです。

- ・利用料金 利用料は年間千円です。
  - ・受付期間 4月10日(水)～19日(金)
- 応募者多数の場合は抽選をします。

### ● 学生相談センター

【☎044-949-0004】  
月～金の週5日、カウンセラーが相談に

じています(1コマ45分、予約制)。予約や詳細についてはG棟学生相談センターまでお問い合わせください。

## 医務室 G棟1階

### ● 健康診断と再検査等について

健康診断(在学生)は、4月6日(土)、8日(月)、9日(火)に行います。健康診断で、再検査や校医面談を指示された方は、お伝えした実施日時に必ず医務室に来てください。

### ● 健康診断証明書について

大学で健康診断を受け、かつ再検査等指示をすべて済ませた方のみ、5月中旬から自動発行機で発行ができます。ホームページや掲示板などで発行開始日を案内する予定です。詳しくは医務室までお問い合わせください。

### ● 感染症への注意と予防

37度5分以上の発熱や体調不良時は、何らかの感染症にかかっている場合もありますので、登校前に受診するなどの対応と普段の予防をお願いいたします。

## キャリア支援室 A棟3階

### ● 4年生の皆さん

求人検索の方法・応募書類の作成や提出・面接対策など、個別相談で対応しています。将来の可能性を広げて就職活動に挑戦してください。

### ● 3年生の皆さん

各企業は3年生向けに夏季インターンシ

プを実施します。社会人と接する貴重なチャンスです。興味のある企業・団体で積極的に経験しましょう。キャリア支援室で、各企業から届く案内を見ることが出来ます。

### ● 1・2年生の皆さん

1年生から参加できるキャリア支援行事や講座も多数あります！将来への不安や疑問など、いつでも気軽に利用してください。

### ● 保証人の皆さま

学生本人が、主体的に自身の進路を選択決定できるよう、1年次からサポートを行っています。悩んだり迷っているときは、足を運ぶようお願いください。

## 企画室 A棟1階

### ● 学生研究助成金の募集

学生で学術研究等に顕著な成績を上げられると思われる個人またはグループを対象に、学生研究助成金を支給します。

- ・給付額 1件5万円以内
- \* 場合により増額あり。ただし10万円を超えないものとする。
- ・受付期間 5月1日(水)～31日(金)

### ● オープン・カレッジばいであのご案内

どなたでも受講できる市民講座です。本学在生は受講料が5分の1になります。企画係までお問い合わせください。

## 図書・情報館 図書館部門

● 図書・情報館の利用について  
学習・研究をサポートするため、図書館と情報センター機能を複合的に提供しています。入館および貸出、施設利用には学生証が必要です。必ず持参してください。

● スキルアップ講習会のご案内  
基礎から応用ガイダンスまで、スキルアップするための講習会を行っています。参加数に応じてオリジナルグッズがもらえる、ポイントラリーも実施します。

● Let's Read Projectの報告書を配布中  
学生が主体となり、本にまつわる様々なイベントや活動を企画・実行する「Let's Read Project」。18年度の活動をまとめた冊子を配布しています。どうぞご覧ください。

## 図書・情報館 情報部門

● 和光大学アカウントの発行について  
学内のコンピュータや無線LANを利用する際には「和光大学アカウント」(ユーザ名とパスワード)が必要です。新生生には学生証と同時に配付されます。

自分の和光大学アカウント(パスワード)がわからなくなってしまった場合には、メディアサロンにて再発行(有料・翌日発行)の手続きを行ってください。

● メディア室の自習利用時間について  
メディア室の自習利用時間は以下のとおりです。どうぞご利用ください。  
・通常授業期間(5月のGW明け以降)  
平日9時~17時50分(最終受付17時20分)  
・集中講義・補習講義期間・試験期間  
平日9時~16時50分(最終受付16時20分)

## 和光大学同窓会

和光大学同窓会は、卒業生同志、卒業生と現役生との交流を通して和光大学を見守り支援する和光大学のサポーターです。

● 同窓会役員メンバー募集中  
現役生大歓迎!

同窓会の活動を楽しみ、意義のあるものにするためにお力を貸してください!

・「教職志望学生支援講座」「福祉のお仕事ガイド」など現役生応援企画もあります。

・同窓会会報寄稿者(近況報告、イラスト、漫画、お店、書籍等の紹介など) 詳細はHPをご覧ください。Eメール・FAXにてお問い合わせください。

Eメール [dousoukai@wako.ac.jp](mailto:dousoukai@wako.ac.jp)  
FAX 044-949-0008

## 奨学金制度

● 輝け! 未来の和光ダイヤモンド  
和光大学成績優秀者奨学金

【対象】 2~4年次生

【給付額】 授業料の半額(後期分充当)

【採用人数】 上限8名

【申請時期】 4月中旬~4月下旬

【選考基準】 学力基準

● 輝け! 未来の和光ファイア  
和光大学給付奨学金

【対象】 2~4年次生および大学院生

【給付額】 授業料の半額(後期分・秋期分充当)

【採用人数】 上限70名

【申請時期】 6月上旬~6月下旬

【選考基準】 学力基準および家計基準

● 日本学生支援機構奨学金

日本学生支援機構奨学金の貸与を新たに希望する方は、申請説明会を開催しますので、左記のうち、どちらかの説明会に必ず出席してください(※内容はどちらも同じです)。

【日時】 4月8日(月) 12時20分~  
4月9日(火) 12時20分~

【場所】 E棟1001教室

※高校在学時に日本学生支援機構奨学金採用候補者に決定した方は出席する必要はありません。

● 私費外国人留学生を対象とした奨学金

私費外国人留学生対象の説明会を開催します。

【日時】 4月11日(木) 12時15分~

【場所】 A棟4階第2会議室

● 留学生歓迎会

日時・場所については、必ず事前に掲示板・HP等で確認してください。

# Campus calendar

4月  
April

4日(木) 新生健康診断  
日本学生支援機構奨学金採用候補者説明会

5日(金) 入学登録・父母懇談会

6日(土) 学科別オリエンテーション(※)  
在学生健康診断  
東京工芸大学単位互換オリエンテーション①  
資格課程オリエンテーション(※)

8日(月) 学科別オリエンテーション(※)  
在学生健康診断  
短期語学留学オリエンテーション  
資格課程オリエンテーション(※)  
再入学生オリエンテーション

9日(火) 学科別オリエンテーション(※)  
在学生健康診断  
東京工芸大学単位互換オリエンテーション②  
資格課程オリエンテーション(※)  
編入学・転部転科生オリエンテーション

10日(水) 前期授業開始  
留学生オリエンテーション

19日(金) 履修登録(-4月22日まで)

5月  
May

1日(水) 学生研究助成金の募集受付(-5月31日まで)

(※) 詳細は、オリエンテーション日程表を確認してください。

## 新任教員の紹介(19・4・1付)

- ①最終学歴
- ②主な経歴
- ③専攻分野
- ④趣味・特技

### ●心理教育学科

織田 望美(おだ・のぞみ)



- ①お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程
- ②立教女学院短期大学、東洋学園大学非常勤講師、米国ウェルズリー大学客員研究員
- ③保育学、幼児教育史
- ④マラソン、山登り、温泉

### ●心理教育学科

齋藤 澄子(さいとう・すみこ)



- ①上越教育大学大学院 学校教育研究科 教育経営コース修士課程 修了
- ②公立小学校教諭・主幹教諭・副校長 教育委員会研修担当指導主事
- ③学級経営論、学校経営論、教育実践(特別支援教育)論
- ④旅行、生け花

### ●現代社会学科

佐伯 芳子(さえぎ・よしこ)



- ①東京女子大学大学院博士後期課程 人間科学研究科生涯人間科学専攻(博士)
- ②東京都庁職員、東京女子大学 研究員
- ③移住労働政策、ジェンダー労働論
- ④太極拳

### ●芸術学科

大坪 晶(おおつぼ・あきり)



- ①東京藝術大学大学院美術研究科 修士課程先端芸術表現科芸術表現修士、プラハ工芸美術大学 修士課程写真学科(MA)
- ②大阪芸術大学写真学科客員准教授、京都造形芸術大学文芸表現学科非常勤講師
- ③現代美術(写真、映像、インスタレーションなど)
- ④読書(小説)、蚤の市めぐり

### ●芸術学科

世利 幸代(せり・ゆきよ)



- ①九州大学大学院芸術工学府芸術工学専攻博士後期課程(芸術工学博士)
- ②デザイナー、デザインコンサルタント、九州産業大学造形短期大学部専任講師
- ③デザイン美学、デザイン史、ビジュアルコミュニケーションデザイン
- ④鉄道、旅行、写真、温泉

## 退職教員の紹介(19・3・31付)

●太田 素子(おわた・もとこ)

現代人間学部教授。  
2007年に着任。専攻は教育学・教育思想史。担当科目は、「保育原理」「幼児教育学演習」など。保育実習センター長や心理教育学科長など歴任。学外では、日本教育学会・教育史学会の紀要編集委員、幼児教育史学会会長など務められた。

●竹信 三恵子(たけのぶ・みえこ)

現代人間学部教授。  
2011年に着任。専攻は労働社会学・マス・メディア論・ジェンダー研究など。担当科目は、「現代社会と労働」「ジェンダーとメディア」など。ジェンダーフォーラム担当者や現代社会学科長など歴任。学外では、NPO法人官製ワーキングプア研究会理事、NPO法人アジア女性資料センター代表理事など務められた。

●川間 哲夫(かわま・てつお)

表現学部教授。  
1985年に着任。専攻はコミュニケーションデザイン。担当科目は、「コミュニケーションデザイン」「記号とデザイン」など。芸術学科長、教務部長、表現学部紀要委員長など歴任。学外では日本デザイン学会会員、基礎デザイン学会会員、日本記号学会員など務められた。

●小瀬村 真美(こせむら・まみ)

表現学部准教授。  
2008年着任。専門は現代美術(絵画・映像)。  
担当科目は、「視覚遊戯・映像工房」「視覚芸術表現の基礎」など。ハラスメント防止委員会委員やキャリア支援委員など歴任。2015年度五島記念文化賞を受賞。

●星野 菜穂子(ほしの・なほこ)

経済経営学部教授。  
2009年着任。専攻は現代日本経済論、地方財政論。担当科目は、「現代日本経済論」「自治体の役割」ほか。学科幹事や図書・情報館運営会議委員など歴任。学外では、横浜市税制調査会委員や東京都税制調査会委員など務められた。



向かって左から竹信先生、太田先生

# MyChoice

vol.26



経済経営学部 経営学科教授

**Rudyanto Bambang**

**バンバン・ルディアント**

専門分野：地理情報システム

「メディアビジネス論」「データベース論」など担当。インドネシア出身。JICA やアジア防災センターの職員を経て、和光大学では 2002 年から教えている。高校卒業後のベルギー留学から始まり、現在まで世界に飛び出し活躍している。学生に対しても、フィールドワークなどの授業を通し、異なる文化や考え方に触れ視野を広げられるよう導いている。母国の伝統武術「シラット」の師範でもある。

## 「実践的学びのススメ」

### 留学への熱意

先生が若い頃、まだインドネシアは後進国で、自分のためにも自国のためにも海外で学ぶことが重要であった。

高校時代成績優秀だったため、アメリカの財団からの援助でベルギーに 1 年間留学することができた。その経験から留学への意欲がさらに高まり、帰国後、再度留学できるよう母国の担当大臣に嘆願書を書いた。その返事が来なかったので、直接首都まで押しかけたのだが、それがきっかけとなり、その熱意が通じ国費で留学できることになった。その時、ベルギー留学でオランダ語を話せるようになっていたのでオランダ行を希望したのだが、結果は日本。同じアジアなので残念な気持ちも持ちつつ来日したが、すぐに馴染み、その関係は現在まで 30 年以上に及んでいる。

### 経験を通して学ぶ

先生は様々なことに挑戦している。日本に留学中にも、アルバイトをいくつも行った。言葉ができない頃の警備員から始まり、血洗い、プログラミング、通訳など知識・経験が増えるにつれ難易度の高い仕事にもチャレンジしていった。生活費を稼ぐこと以上に、経験から学ぶことが大切だったという。お客さんとして来て勉強だけをするのではなく、率先して社会に入っていくことで、言葉はもちろん、日本の文化や習慣も深く理解できるようになっていった。経験から学んでいく意欲はその後も続き、世界各地へのホームステイや国連、JICA などで働くことにつながっていく。和光大学の経営学科で教えるようになってからも、実際の経営を知りたいとの思いから、母国のパン工場の経営に携わったこともあるそうだ。

### 伝えたいこと

先生の授業では、体験を重視している。頭で理解したことは忘れやすいが、五感を使って学んだことは 10 年経っても忘れないことが多い。そのためにゼミでは色々な所へ出向くし、外部の人に講演をしてもらう。また、先生は人と人とのつながりを大切にしている。先生自身、人とのつながり（コネとも言う）のおかげで、世界中で活動できたそうだ。これからも先生は、機会を見つけて海外に学生を連れて行きたいと思っているということなので、新しいことに挑戦したい人、人とのつながりを広げたい人は、ぜひ先生に相談してみてはいかがでしょうか。

(文=後藤)

## STAFF MEMBERS

後藤 麻佑 (15G) 取材執筆	野内 愛加 (15G) 取材執筆	一二三 友佳 (18G) 取材執筆 / レイアウト
藤巻 瞬 (15G) 撮影	李 宗益 (16G) 撮影	大倉 里奈 (17P) 撮影
松本 美吹 (15G) レイアウト	吉田 菜々子 (15G) レイアウト	吉田 るい (15G) レイアウト
落合 さら (16G) レイアウト	越村 歩 (16G) レイアウト	清水 美里 (16G) レイアウト

担当：企画係 Tel 044-988-1433



# OUR NEIGHBORS

Vol.22

～ 隣人探訪 ～

Cafe 花と海 橋本洋子さん

「鶴川駅」南口を出て約3分、秘密基地のようにひっそりと佇むのは古民家カフェ「花と海」。白く塗装された外観に青く晴れ渡った空が映え、はるか遠く海外の海の家の様な爽やかな雰囲気を感じられる。それでいてどこか懐かしいのは、ここが空き家を改装した“古民家カフェ”だからであろう。「花と海」という名前は、橋本さんの娘さん(2人)のお名前が由来とのこと。

それでは、今回、取材でお店を訪れファンになった私が、この店の魅力を伝えていこう。この記事を読み終わる頃、あなたはきっとここを訪れたいくなるはずだ。さあ、春風を感じるテラス席を抜け、店に入ればコーヒーの豊かな香りが鼻腔をくすぐる。

看板メニューは、フルーツ酵素をたっぷり使ったサラダボウル。木皿いっぱいの野菜はシャキシャキとフォークを拒むくらいどれも新鮮で、オリジナルのドレッシングが野菜独自の甘みを引き出している。また、スムージーもやさしい味で、一口飲めば幸福感に包まれる。ここでは時間がゆっくり流れるようで、美味しいものを頂きながら、のんびりとしたひとときが過ごせる。

こんな素敵な憩いの場である「花と海」は普通のカフェではない。自然派の体に優しいメニュー? 子連れでもペット連れでも気兼ねなくお茶ができること? 勿論、それもある。しかしそれだけではなく、地域との交流があるイベントの場でもあるのだ。

「地域の“ハブ”になりたい」という思いから、地域の人々を対象にしたイベントを店内で実施している。何かやりたい人達に“場所”を提供しているのだ。過去にはパン作り教室や、絵本の読み聞かせ。はたまたゴスペルの生合唱まで、実に多種多様な催しを開催している。イベントをやってみたいという方は是非、ここを訪れてみてはどうだろうか? 自分の思いを橋本さんに相談すれば、この場所を使ってどんなイベントができるのか、的確にアドバイスしてくれるはずだ。お客さんともつながりができるなど、きっと今までにない出会い、発見、新しいことへの意欲や勇気がもらえるようになるだろう。

お店では雑貨などの販売も行っている。自分で仕入れたものだけではなく地域の方々の作品も並んでいる。和光生の作品もお店に飾ることはできるので、ものづくりが好きな人は自分の作品の販売にチャレンジしてみたいはいかがだろうか。ただ、店頭と並べるのは、お店の雰囲気に合うことが条件なので、作品を持ち込みたい方は、まずお店に行ってみるべきだろう。また、そこで未知のアーティストの魅力的な作品との出会いがあるかもしれない。

このお店の佇まい、メニュー、イベント、雑貨など、全てに橋本さんのこだわりが詰まっている。でも敷居が高いということはなく、自然な優しさに溢れ、誰でも受け入れてくれる雰囲気がある。癒しを得られるだけでなく、新しい刺激をもらえる場所でもあるので、皆さんもぜひ一度足を運んでみてはいかがだろうか。

(文=一二三)